

だっこするよ

平成30年5月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



自然とのふれあいから育てたい力

太陽が急に輝きを増し、薫風さわやかな美しい5月がやって来ました。地球上の生命が一斉に躍動的に動き出す大好きな季節です。眩しい太陽に魅かれ、幼児組は、荒川の土手を走り、八幡神社から新幹線を眺めて、自然観察公園の古民家で五月人形を見て、生えている筍に触り、そして、おたまじゃくし捕り、隣の田んぼ体験、そして、清水坂公園の滑り台に、島下公園に緑道公園と4月も東西南北、地域の皆さんに出会い、にっぷり歩いて楽しみました。「歩育」は身を守る基礎体力を育くむことが目的ですが四季折々赤羽の美しい自然に包まれて心も体も益々健康に育つことでしょう。そして、玄関で大泣きしていた新しいお友だちも時折笑顔が見えるようになりました。この人がオムツを換えてくれて、泣いていたら抱っこしてくれると分かってきました。保育者を目で追っています。泣かれた毎日、パパもママも胸が痛んだことでしょう…連休明けにあと少しだけ時間が必要ですが、もう園の一員です。保育者を信頼して遊ぶ姿は、どんなに小さくても「自立したい。自分らしく生きたいから応援してね」とその声が聞こえてくるようです。家庭と自分の社会の中で生きていくこどもたち、あなたの声を聴き、温かい愛情の中で育てて参ります。

「これからの時代を生きるこどもたちに育みたい力とは」という神戸大学大学院北野幸子氏のお話を伺いました。幼児期の「知識教育」の効果は一時的なものに過ぎないことや暗記型や結果主義という数値で分かる認知能力では無く、物事に関心をもち、目標に向かって粘り強く頑張る力、仲間と協調して取り組む力、感情をコントロールする力、自尊心や自己制御、忍耐力といった非認知能力こそ21世紀型スキル=コンピューターを育むことです。暗記型・記憶型・結果主義から活用法・展開型・文脈主義へ。乳幼児期の教育は、人格形成と学びに向かう力の基盤を創ることである。」と話されました。

やはり「体験貯金」です。主体的に体験を通して、アクティブにラーニングすることです。乳幼児期のみならず小、中、高校、さらには大学教育でも現在アクティブ・ラーニングの導入が進められています。

自分たちで考えて、方法を組み立て、試して学び合うこと、本物に出会うこと、そしてみんなで活動を振り返り話すこと…ぬかるんだ田んぼに足を入れたときの感触、自分の手でおたまじゃくしやアメンボを捕まえたときの喜び、生き物の素早い動きや太陽の光、泥がべったりとはりつく感触…その情報はこども達の皮膚から脳へ駆け巡り、感覚神経の記憶になり、新たな興味関心、知識と結びついていくでしょう。うちのこどもは、DVDやゲーム・スマホ漬けで言葉の数が少ない、表情が乏しい、人との関わりが苦手と言わせません。自然科学の入り口を今たっぷりと味わい、活きた知識へつなげたい「乳幼児時期こそ、バーチャルでなくリアリティを」(私の尊敬する北野氏の言葉です)ですね。

さあ、ゴールデンウィークですね。ご家族でも歩育、自然の中へ出かけませんか？こどもたちは、虫取りもプロですよ。是非虫かごを持って出かけましょう。そして、休み中は、家事のお手伝いをさせてください。料理の下ごしらえや洗濯物干しも得意になって手伝ってくれるでしょう。そして「あ〜助かった。有難う」の魔法の言葉も忘れずにかけてあげてくださいね。5月もみんなで幸せになるぞ↑

写真は「春の田んぼで 地球を感じる」です。この後、体の後ろ前が分からないくらい見事な姿に変身します。